

様式2

令和2年度 生徒自ら行う学習環境整美事業実績報告書

令和2年11月25日

高校教育課長 様

長野県飯山高等学校長 滝澤 崇

下記のとおり事業を実施しました。

記

1 実績内容

事業名	グラウンドの整備(土入れ・整地)
実施主体名	飯山高等学校 生徒会(野球部)
実施人数(生徒)	67名
”(保護者)	0名
”(職員等)	4名
実施日	10月11日・11月22日
事業内容	・砂入れ(業者から購入した洗い砂を入れるー10月8日) ・グラウンド整地(生徒職員による整地ー10月11日) ・砂入れ(業者から購入した土を入れるー10月28日) ・グラウンド整地(生徒職員による整地ー11月22日)

2 実績額 197,340 円

(購入品目)

※添付書類で明細が分かる場合は省略可。

品名	規格	数量	単価	金額
グラウンド用洗い砂		19.5 m ³	4,600	98,670
グラウンド用洗い砂		19.5 m ³	4,600	98,670

3 実施成果の公表方法・時期

本校ホームページへ記載 P T A通信等で全校生徒・保護者・地域へ通知
--

◎留意事項

- ・事業が複数ある場合は、1事業ごとに報告書を作成してください。
- ・請求書、実績写真(実施前、作業中、実施後の状況のわかるもの)、付表を添付してください。

担当者(職・氏名) 教諭 神林 孝耶

学校番号 3

様式2の付表

○事業を実施した結果、教育的効果（生徒の取組み等）の状況



・クラブ活動の充実

今年度、野球部が使用している城北グラウンドの内野の定位置と外野の定位置を中心に整備した。事業を行ったことにより、グラウンドが平らになり、砂も厚く整備できたことによりイレギュラーバウンド等が減少した。

・生徒自ら行う練習環境づくりと維持

グラウンド整備を生徒とともに行った事で、生徒自身が自分たちの手で作り上げたという充実感を味わい、自分たちで作ったグラウンド環境を守っていこうという意欲に結びついている。また、事業を行ったことにより練習後時間をかけ、グラウンドの隅々まで丁寧に整備する姿が多く見られるようになった。

○事業を実施する上での問題点

ご存じのとおり本校グラウンドは、冬季間は大量の雪に被われる。この事によって、春先は雪解けとともにグラウンドの土が大量に流失してしまう。毎年同じような作業であるが、グラウンドを維持していく上では大切なことであると考えている。

ここ数年は土入れを継続しているが、この事業で入れていただいた土についてもほとんどが来春には流失してしまうことが予想される。外野ゾーンも含めグラウンド全体に砂を入れ、砂の流失をある程度の食い止めることができる対策をグラウンド周辺に施し、流失した分の土を補充していくことが必要であると考えている。

○今後、本事業に要望すること

毎年土が流出するため、この事業により毎年土を入れていただければありがたい。